

第37回日本語教育連絡会議 2024年8月26日～27日 デブレツェン大学（ハンガリー）

2024年8月26日	1日目	発表テーマ
8:00-8:30	受付・開会	
8:30-8:55	加藤恵梨	日本語学習者の作文にみられる修辭法
8:55-9:20	重盛千香子	日本語のモダリティーの理解のために — スロヴェニア語との対照から
9:20-9:45	李在鎬	生成AIを有能な赤ペン先生にするプロジェクト
9:45-10:10	チェンドム・アンドレア	近世日本文化の異文化翻訳と映像メディア：国際日本学の視点からの考察
10:10-10:30	休憩	
10:30-10:55	堀恵子	DDLを取り入れた要約文作成指導の試み
10:55-11:20	村田恵美	クロアチア語を母語とする日本語学習者は「依頼場面」で可能形式をいかに用いるか
11:20-11:45	若井誠二	気になるあの子 その後
11:45-12:00	佐藤絢	デブレツェン大学日本語コースの紹介
12:00-12:30	デブレツェン大学案内・写真撮影	
12:30-14:00	昼休み	
14:00-14:25	山本冴里	「日本語母語話者」は「複言語教育」を理念として構想された教室で何を学ぶのか ——CARAPを手がかりに
14:25-14:50	内川かずみ	欧州高等教育機関日本専攻における卒業論文と日本語授業の関係—インタビュー調査 結果の考察—
14:50-15:15	土屋千尋	夜間中学における日本語教育
15:15-15:35	休憩	
15:35-16:00	田村知佳	漢字学習に対する意識と学習ストラテジーに関する一考察—ラトビア大学の中上級レ ベルを例に—
16:00-16:25	村田裕美子	映画を「読む」実践授業—『フタバから遠く離れて』—
16:25-16:50	黒沢晶子	中世から近代の辞書に見る字音の消長—呉音—
18:30-	懇親会	
2024年8月27日	2日目	発表テーマ
8:30-8:55	富谷玲子	日本語教育実習生に必要とされる「知識・技能・態度」の測定
8:55-9:20	袴田麻里	ゼロ初級でのカタカナの学習
9:20-9:45	小川蒼子美	西洋人の東アジア理解と文字学習：マテオ・リッチからアーネスト・サトウまで
9:45-10:10	善如寺俊幸	新しく作成した漢字テキストの紹介とその出版事情
10:10-10:30	休憩	
10:30-10:55	蓮沼昭子	発話キャラクタに見る伝聞表示形式の選択傾向
10:55-11:20	砂川有里子 守時なぎさ	日系ブラジル人Mさんの個人史から日本語教育を考える
11:20-11:45	トリチコヴィッチ・ディヴナ	日本語とセルビア語の過去形の対照
11:45-12:10	中野二郎	「伝える」力養成のための落語技法（小噺・謎かけ等）の実践報告
12:10-13:35	昼休み	
13:35-14:00	橋本クラールニコヴァー玲奈 小村明子	スロバキアにおける日本語学習とアニメ視聴との関係性：スロバキア・アニメショウ におけるアンケート調査報告
14:00-14:25	奥野由紀子	エコトーンとしてのトランスランゲージングの実態—日本・デンマーク・スウェーデ ンを移動する若者の事例から—
14:25-14:50	川口義一	「敬語コミュニケーション」講座のゲスト・セッション活動
14:50-15:15	蓮沼啓介	七福神再考（その二）
15:15-15:35	休憩	
15:35-16:00	山森理恵	ある外国ルーツの若者が大学進学・卒業・就職に至った過程—複線径路等至性モデリ ング（TEM）による分析から—
16:00-16:25	金庭久美子	メール文に見られる「ことができる」について
16:25-16:50	宇佐美まゆみ	自然会話を素材とする共同構築型オンライン教材NCRB（Natural Conversation Resource Bank)の活用法
16:50-17:20	全体会議	
17:30	閉会	